

「便秘について」



便秘の種類は以下の6つに分けられます。①器質性便秘(通過障害)・・・大腸癌、大腸炎などによる腸管の狭窄が原因です。②症候性便秘(二次性便秘)・・・甲状腺機能低下症、糖尿病、パーキンソン病、脳梗塞などの全身性疾患によって起こるものです。③薬剤性便秘・・・向精神薬、頻尿などの薬、抗うつ剤、降圧剤などの内服によって起こるものです。

④弛緩性便秘・・・大腸の動きが低下し、糞便の水分が高度に吸収され、硬便となり、排便時に腹痛を伴い、最初に固い便が出て後半は軟便となります。過敏性大腸炎の症状として見られる事が多いようです。⑥直腸型便秘・・・直腸内に

便秘の種類は以下の6つに分けられます。

れて便が固くなるのが原因です。これは一番多い便秘で高齢者やヤセ形の女性、寝たきりの患者さんに多いとされています。食生活、排便習慣、腹筋力の低下が原因と言われています。

入ってきた便の刺激によって起こる、排便反射が起こらなくなった状態です。排便を我慢する習慣が原因と言われています。

40歳以上で最近になって便秘が続くようになった方は、まずは大腸癌などをチェックするために消化器内科の受診をお勧めします。器質的な腸疾患が否定できたら、現在服用中の薬もチェックしてみてください。また、生活習慣を見直して、運動、規則正しい食事、十分な水分と食物繊維の摂取、規則的な排便習慣を心がけて下さい。無理なダイエットも便秘の原因となります。これで改善が見られなければ下剤の投与となりますが、市販の下剤の多くが刺激性下剤(セナナ、ダイオウ、アロエが主成分)です。連用は習慣性を招いたり、便秘が悪化する危険もあるため、最初は内科、あるいは消化器内科で相談する事をお勧めします。

函館中央病院

渡邊 豊

副院長 兼 外来化学療法センター長

【略歴】

昭和61年、北里大学医学部卒業。北海道大学病院、網走厚生病院、稚内市立病院、恵佑会札幌病院勤務を経て、平成11年より函館中央病院内科勤務。同院内科科長、診療部長などを歴任し、平成21年より同院外来化学療法センター長、平成25年より副院長に就任した。日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会認定専門医。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目/内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目
受付時間/8:30~11:30・13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
休診日/日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)